

19 名古屋臨海高速鉄道株式会社

令和3年7月1日現在

設立年月日		平成9年12月2日	代表者氏名		代表取締役社長 大島 尚美		
所在地		名古屋市港区十一屋一丁目46番地				電話番号	052-383-0954
ホームページアドレス		https://www.aonamiline.co.jp/cgi/index.asp					
資本金・基本金		100,000千円	市出資・出捐金		76,939千円 (76.9%)		
所管部局		住宅都市局都市計画部交通施設管理課				電話番号	052-972-2730
設立目的		「ひと」「もの」「情報」の交流・交易拠点である国際港湾・名古屋港と名古屋都心部とを結ぶ路線として、また、名古屋西南部地域の基幹公共交通サービスの充実と沿線の均衡あるまちづくりの促進のため、貨物専用であった西名古屋港線の旅客化を図ることを目的とする。					
主な事業	事業名		令和2年度 営業収益	事業の概要			
	鉄道事業		1,827,758千円	第一種鉄道事業及びそれに付帯する事業の運営			
役職員数			常勤非常勤				
	役員数		5人 (うち市派遣)	1人 (うち市OB)	2人	4人	
	職員数		125人 (うち市派遣)	5人 (うち市OB)	1人	17人	
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)		6,600千円	正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)		4,733千円	正規職員平均年齢 (市派遣職員除く)	34.6歳
		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
市からの財政支出	委託料		0千円	0千円	0千円		
	内 随意契約金額		(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	補助金		0千円	0千円	102,016千円		
	指定管理料		0千円	0千円	0千円		
	貸付金 (年度末残高)		0億円	0億円	0億円		
損益計算書 (正味財産増減計算書)	経常収益		2,982,998千円	3,052,196千円	1,848,466千円		
	経常費用		2,302,715千円	2,533,154千円	2,362,483千円		
	経常利益 (損失)		680,283千円	519,042千円	▲ 514,017千円		
	当期利益 (損失)		978,743千円	390,105千円	▲ 760,779千円		
貸借対照表	総資産		6,652,986千円	7,195,742千円	6,769,145千円		
	内 流動資産		(2,607,194千円)	(3,501,966千円)	(3,114,556千円)		
	内 固定資産等		(4,045,792千円)	(3,693,776千円)	(3,654,589千円)		
	総負債		1,282,552千円	1,435,202千円	1,769,385千円		
	内 流動負債		(611,590千円)	(872,223千円)	(1,563,885千円)		
	内 固定負債等		(670,962千円)	(562,979千円)	(205,500千円)		
	純資産 (正味財産)		5,370,435千円	5,760,539千円	4,999,760千円		

経営に関する指標（共通指標）

19 名古屋臨海高速鉄道株式会社

○法人の自立性

	令和元年度	令和2年度	対前年度増減
市からの収入割合 $\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	0.0%	5.5%	+5.5%
市との随意契約比率 $\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
	令和2年7月1日現在	令和3年7月1日現在	対前年度増減
市職員の役員就任割合 $\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	20.0%	22.2%	+2.2%
固有職員比率 $\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	73.3%	76.0%	+2.7%

○組織運営の効率性

	令和元年度	令和2年度	対前年度増減
販売・管理費比率 $\left(\frac{\text{販売・管理費}}{\text{経常収益}} \right)$	63.4%	97.0%	+33.6%

○財務の健全性

	令和元年度	令和2年度	対前年度増減
自己資本比率 $\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}} \right)$	80.1%	73.9%	▲6.2%
流動比率 $\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	401.5%	199.2%	▲202.3%
固定長期適合率 $\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}} \right)$	58.4%	70.2%	+11.8%
借入金依存度 $\left(\frac{\text{借入金+社債}}{\text{総資産}} \right)$	5.9%	5.2%	▲0.7%
剰余金(欠損金) $\left(\frac{\text{純資産(正味財産)} - \text{基本金・資本金}}{\text{}} \right)$	5,660,539千円	4,899,760千円	▲760,779千円

○ 経営戦略計画（R2～R4）の概要

経営戦略方針

- お客さまに安心してご利用いただける、安全を最優先にした輸送サービスの提供
- お客さまに快適にご利用いただける、高品質な輸送サービスの提供
- 収入増、経費節減に努め、企業倫理が確立し、徹底した健全な経営を推進

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	2 目標値	2 実績値
安全最優先の輸送サービスの提供 【公共サービスの充実】 【効率性の発揮と成果】 【人材力・現場力の強化】	①安全目標の達成(件数)	0	1
	②ホームドアのオーバーホール・可動式ホーム柵の更新(件数)	1	1
	③耐震補強工事の促進(件数)	1	1
	④異常時対応体制の強化(参加人数)	75	113
高品質なサービスの提供 【公共サービスの充実】 【効率性の発揮と成果】	⑤多言語対応の充実(件数)	3	3
	⑥各駅トイレの洋式化(件数)	1	1
健全な経営の推進 【財務内容の改善・向上】	⑦乗客数(人／日)	43,300	29,643
	⑧イベント参加人数の増加(人数)	10,000	2,647
	⑨設備の省電力化(件数)	1	1